

## 留 学 報 告 書

留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ アカデミック クインターンシップ
留学期間	2018年8月～2019年3月
留学を開始した時の学年	2年生

### 留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	約 280,000 円
保険料	82,670 円
宿舍費（1か月あたり）	100,000 円
食費（1か月あたり）	30,000 円
渡航旅費	150,000 円

### 滞在形態関連

1) 種類	ホームステイ。
2) 部屋の形態	個室。
3) 設備	シャワー、トイレ、キッチン、ランドリー、インターネット環境、食堂、宅配ボックス。
4) 住居を探した方法	留学先大学からのおすすめ。

### 現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？	いいえ。
2) 現地で病院にかかったことはありますか？	いいえ。
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？	いいえ。
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？	はい。おたふく、麻疹、風疹の三種混合の予防接種が必須でした。 私は、麻疹と風疹はすでに打っていたので、おたふくのみを別に打ちました。
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？	

留学先の友人。
<b>6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？</b>
近所の周辺にホームレスがいたり、銃声が聞こえたりしました。また、私が不在時に家で自転車の盗難がありましたが、大事には至りませんでした。私は、ホームステイでできた友人と情報を共有したり、ホストが何か危険な事件があった場合はアナウンスをしてくれました。
<b>7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？</b>
ソフトバンクのアメリカ放題を使用していましたが、不便を感じたことはありません。フリーWi-Fiを提供しているお店が多いのでよく利用していました。
<b>8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？</b>
クレジットカードと現地でいただいた給料をベースに生活していました。
<b>9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？</b>
ハワイは物価が高く、特に日本の商品が高いのですが、不便はありません。個人的に、現地の洗髪料や洗顔料が合わなかったので、自分の愛用しているものを持って行ったほうがいいと思いました。
<b>10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？</b>
クレジットカード。
<b>11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。</b>
日中でも危険な場所（例 カカアコ）があるので、前もって危険な地域を周りの人に聞いたり調べたりしておいたほうがいいと思います。観光地のイメージが強いですが、日本よりはるかに治安が悪いので、気を付けてください。

### 渡航について

<b>1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？</b>
ホームステイ先を斡旋した会社のピックアップサービス。
<b>2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？</b>
はい。

### 学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

<b>履修した授業科目名</b>
Host101 Introduction to Hospitality and Tourism
<b>授業内容や試験、授業を受けた感想について</b>

オンライン形態で、一週間ごとに課題と小テストがあり、何回かに分けて得点の高いテストもありました。パソコンに吹き込むタイプのプレゼンは、慣れていないので戸惑いましたが、比較的簡単な授業でした。

**履修した授業科目名**

HOST397 Hospitality and Tourism International Internship

**授業内容や試験、授業を受けた感想について**

インクラスの授業で、明治のKCC インターン生だけでなく明海大学のインターン生との合同授業でした。地域のイベントのボランティアに参加したり、他の通常授業にも参加したりしました。最後に30分間のプレゼンをしたのですが、そのプレゼンがインターンシップを振り返る役割を果たしていて、個人的に達成感がありました。

## 留学体験記

留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由	大学1年生の時に、近所の飲食店でアルバイトをしていたのですが、そこで外国人客への接客がうまくできず、日本人相手にするような接客ができていないようでストレスを感じてしまい、海外でホスピタリティを学びたいと思うようになりました。また、大学在学中に留学に行きたいと思っていたので、自分の英語力を向上させられると同時に、海外のホスピタリティを学べる国際日本学部のカピオラニコミュニティカレッジインターンシッププログラムが最適だと思い、応募しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	二年生になった時に、事務室から、留学の手続きに必要な書類の作成を求められました。指示通りに提出期限以内に提出すれば何の問題もなく書類手続きは進むと思います。期限内提出であっても、海外とのやり取りなので書類の発送に時間がかかることがあるのでできるだけ早く進めるほうがいいです。私は、ビザ申請や航空券、ホームステイ先を決めるのに時間がかかってしまって、出発前ギリギリにすべて整ったので、もっと早く手続きを進めればよかったと思いました。
留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等	インスタグラムが役に立ちました。人とやり取りを行う上でも手軽で、ハッシュタグや場所から検索をかけると、実際行った人の写真やコメントがあるので、詳しい情報を得られます。また、私ではないのですが、友人は帰国の前にビビナビで使用していた調味料や生活用品を売っていました。売るだけでなく安く手軽に安全に物資のやり取りを行えるため、ハワイに住む方々によく利用されているようです。ハワイは日本人が多いので、インターネットに頼るよりも身近な人に意見を求めることをおすすめします。
大学・学生の雰囲気（職場や同僚の雰囲気）	私がインターンシップをしたアロハテーブルは、かなりアットホームな雰囲気です。様々な人種がいて、日本人、中国人、ハワイアン、グアムからの移住者であるマイクロネシアンが働いています。年は離れていますが、みなさん若い感性を持っていて、親しみやすいので、必ず打ち解けられると思います。ランチタイムは日本人観光客が多いので、日本語での対応が求められます。私は、不慣れた海外旅行で不安になっている日本人を安心させるためによくお客さんに話しかけていたので、日本語のコミュニケーションスキルも上がりました。
滞在先の雰囲気	私の滞在先はホストファミリー、マザー、そして私を含めた3人の学生で生活をしています。学生の一人は同じ年でハワイ大学マノア校に通っていて、もう一人は4歳年上でハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジに通っています。2人から教えてもらう大学生活を通して私も大学について知識が増えていき、困ったことがあれば助けてもらっていました。就寝前までは、基本的に共有スペースで各自課題をやったり趣味について話していて、充実していました。

<p>留学先における交友関係</p>	<p>私は基本的にホームステイ、授業、アロハテーブルでできた友人と行動を共にしていました。インターン生は、学校に行く機会が週に一度しかなく、オリエンテーションにも参加できないので、なかなか友人ができない環境だと思いました。ハワイの人は基本的に気さくな方が多いので、遠出すると必ず一人は面白い人に出会えて仲良くなれました。ハワイの文化を知るという意味でも、友人を作るという意味でも、たまには uber を使って遠出することをおすすめします。</p>
<p>留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと</p>	<p>私は幸いなことに、あまり困ったことはありませんでした。強いて言うなら、ソフトバンクのアメリカ放題を利用していたのですが、電話番号が日本の番号なので、自分からはかけられますが、相手からの電話を受けられないということがありました。基本は、SNSの無料通話機能を使っているので不便はないのですが、美容院を利用する際に、電話が通じず、メールでやり取りを行わなければいけないことになったが、少しだけ不便に感じました。</p>
<p>留学先における学習、課題や試験</p>	<p>私が一番大変だと感じたのは、インターンシップの授業の30分プレゼンでした。インターンシップ先の詳細とインターンシップで自分が経験したことを話すのですが、30分という時間制限が難しいと思いました。ふくらまそうとすれば話す内容が増えるし、かといって減らすと内容が薄くなるし、聴く側を疲れさせては元も子もないので、話す内容とパワーポイントは事細かく作りました。仕事をしながら情報を集めて制作していくのは大変で、少し負担に感じました。</p>
<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>ハワイは自然が多い反面ショッピングをする場所が多いので、自由時間はビーチに遊びに行ったり、ショッピングをしていたりしました。どこを撮っても写真映えする景色で、日本ではなかなかできなかったハイキングや遊泳は貴重な体験でした。幸いなことに、給料があったので、観光客として有名なホテルに泊まったり、ディナーショーに参加したりしてハワイの文化を味わうことができました。イベントも多いので、参加できるボランティアには参加するようにしました。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>カピオラニコミュニティカレッジインターンシッププログラムは、想像以上にインターンがメインでありあまり学校に行く機会がないというのは覚悟しておいたほうがいいと思います。また、インターンシップ先ではスタッフの一員として仕事に臨むために積極的に行動して仕事を早く覚えていくと、お店のマネジメント、ニーズ、色々なことを自分で分析できると思います。私は、アロハテーブルで働くのが本当に楽しくて、まだハワイに残っていたいと思ったくらいでした。今後プログラムに参加する方が、充実した留学生活を送れることを祈っております。</p>

